



2021年8月13日

各位

会社名 株式会社 Birdman
代表者名 代表取締役社長 伊達 晃洋
(コード番号：7063 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 CFO 兼 CHRO 三橋 秀一
(TEL 03-6865-1322)

法人税等調整額(損)の計上および個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年6月期決算において、下記の通り法人税等調整額を計上いたしましたのでお知らせします。また、個別業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額の計上について

当社は、2021年1月1日を効力発生日として、株式会社カラス、株式会社噂、株式会社円卓、株式会社 Spark、株式会社 arca 及び株式会社 BIRDMAN を吸収合併し、繰越欠損金を引き継ぎましたが、当四半期の業績及び今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩すこととしました。

これにより、2021年6月期決算において法人税等調整額(損)を36,499千円計上いたしました。

上記の法人税等調整額(損)の計上による業績の影響等については、本日公表の「2021年6月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」をご参照ください。

2. 個別業績と前期実績との差異について

(1) 2021年6月期個別業績と前期実績の差異(2020年7月1日～2021年6月30日)

(単位：千円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2020年6月期)	1,496,119	△160,744	△10,121	△585,077	△243円41銭
当期実績(B) (2021年6月期)	1,757,903	△239,376	△208,316	△49,620	△19円84銭
増減額(B-A)	261,783	△78,631	△198,195	535,457	
増減率(%)	17.5	—	—	—	

(2) 差異の理由

2020年12月31日までは旧株式会社エードットの個別業績である一方で、2021年1月1日をもって株式会社カラス、株式会社噂、株式会社円卓、株式会社 Spark、株式会社 arca、及び株式会社 BIRDMAN を消滅会社とする吸収合併を行いました。当該吸収合併の影響から、売上高は前期実績を上回る結果となりました。

一方で、案件の大型化と期ズレの影響、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う大型案件のキャンセルの影響から、第4四半期の売上高が減少したことにより、営業利益、経常利益は前期実績を下回る結果となり、当期純利益は抱合せ株式消滅差益の影響もあったため前期実績を上回る結果となりました。

以 上